

2021年版 二次電池市場・技術の実態と将来展望

- 脱炭素社会と蓄電池 ～ 次世代蓄電池・二次電池市場実態/予測・関連部材 -

◆ 発行:2021年2月19日 ◇ 体裁:B5判-210頁 ◇ 定価:70,000円(税抜き) 千共 ◆
◇ B5判+CDタイプ (PDF) (Windows対応) 定価:90,000円 ◇ B5判/CDタイプ 定価:各70,000円、各千共 ◇

— 内容案内 —

政府は、次世代二次電池や水素など革新的な技術開発に継続的な支援を行うため2兆円の基金を創設します。世界的に進む電動車シフトと連動して、EV（電気自動車）の今後の行方を大きく占うのが、ポスト・リチウムイオン電池です。全固体電池をはじめ、リチウム空気電池、多価イオン電池などがその候補です。学术界、研究機関、産業界のそれぞれで世界的に研究開発が進展しています。一方で17年4月からエネルギー小売自由化（電力・ガス）が開始しています。定置用二次電池（蓄電池）も重要な役割担うこととなります。エネルギー政策の方向性として、クリーンエネルギーへの重点シフトが打ち出されています。国民一人一人がエネルギーの需要家であると同時に、エネルギーの生産者として再生可能エネルギーや蓄電システムを駆使することによって、従来の集権型エネルギーから分散型エネルギーに転換していきます。エネルギー基本計画では、蓄電池はエネルギーの需要構造の安定性強化に貢献する大きな可能性を持った技術であり、より低コスト化・高性能化を図っています。政府は、環境対応車が新車販売に占める割合を2030年代にすべてとすることを表明しています。

★ 既刊レポート「2021 コンデンサ市場・部材の実態と将来展望（20年10月刊行）」 ★

★ 内容・サンプル (PDF) は、HP <http://www.j-economic.co.jp> でご確認ください。 ★

— お問い合わせ、資料請求などは、Tel (03-3808-0611) / Fax (03-3808-0617) までお願いします —

2021 二次電池市場・技術の実態と将来展望(第一版) 購入申込書

申込日: 2021年 月 日

※ 購入される商品の口にチェックして下さい。以下の定価は、税抜き価格で別途消費税が加算されます。
 B5判+CDタイプ(PDFファイル) 定価:90,000円 プレミアム CD(PDF+Excelファイル) 定価:90,000円
 B5判 210頁 定価:70,000円 CDタイプ 定価:70,000円 B5判+プレミアム CD 定価:110,000円
 上記以外に、A4タイプ(定価:70,000円)などニーズに対応した商品を提供しております。

御社名		T E L	
		F A X	
御住所	〒		
御所属		御名前	
御役職			
通信欄		メール	

※ ご請求書は、資料発送時に同封致します。ご記入頂きました個人情報は、新刊案内（メール含む）のご案内をさせて頂く場合がございます。お客様の個人情報を第三者に提供する事はございません。ご注文は弊社 HP から注文できます。

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-11-5 日本橋吉泉ビル3F 株式会社日本エコノミックセンター 東京本社

※ 市場動向等により一部内容を変更する場合があります

第I章 次世代二次電池市場の動向と展望

・次世代二次電池市場の動向と将来

第II章 二次電池市場の動向と展望

1. 二次電池世界/国内市場の動向と実態

- (1) 二次電池世界/国内市場概況
- (2) マグネシウム電池の動向と展望
- (3) リチウム空気電池の動向と課題
- (4) 二次電池市場の業界図（世界・国内）
（二次電池世界市場推移予測（～2040年度）/シェア/用途別）

2. 二次電池の種類と特徴

3. タイプ別二次電池世界市場推移・予測（全体）

（タイプ別二次電池出荷数量推移・予測 / 出荷数量構成比率 / 出荷金額推移・予測 / 出荷金額構成比率）

4. タイプ別二次電池世界市場推移・予測（用途別）

（タイプ別二次電池世界市場推移予測/リチウムイオン電池世界市場推移予測 / シェア/タイプ別市場推移予測 / ニッケル水素電池世界市場推移予測/シェア/タイプ別世界市場推移予測 / 鉛蓄電池世界市場推移・予測/シェア / NAS 電池世界市場推移予測 / レドックスフロー電池世界市場推移予測 / 溶融塩電池世界市場推移予測 以上、市場・用途別）

5. 用途別リチウムイオン電池世界市場推移・予測

（用途別リチウムイオン電池世界市場推移・予測/出荷数量構成比率/用途別世界市場推移・予測/出荷金額構成比率 / 民生別世界市場推移・予測/メーカーシェア / 車載用リチウムイオン電池世界市場推移・予測/メーカーシェア / 産業用 LiB 世界市場推移・予測/産業用 LiB メーカーシェア）

6. メーカー別二次電池出荷数量・金額一覧（表）

（メーカー別二次電池出荷数量推移予測/出荷額推移・予測）

7. タイプ別二次電池メーカー出荷数量推移・予測

（リチウムイオン電池/ニッケル水素電池/鉛蓄電池）

8. タイプ別二次電池メーカー出荷金額推移・予測

（リチウムイオン電池/ニッケル水素電池/鉛蓄電池）

【参考】二次電池統計資料（経済産業省機械統計）

第III章 二次電池応用市場の動向と展望

1. リチウムイオン電池関連市場の動向と実態

- (1) リチウムイオン電池注目市場概況と動向
- (2) 用途別民生機器向けリチウムイオン電池市場推移・予測
- (3) 車載・産業用リチウムイオン電池関連市場推移・予測

2. 民生用二次電池応用市場の動向と展望

- (1) スマートフォン市場の動向と展望
- (2) タブレット端末市場の動向と展望
- (3) 携帯電話市場の動向と展望
- (4) ノートブック市場の動向と展望
- (5) デジタルカメラ市場の動向と展望
- (6) 家庭用蓄電池市場の動向と展望
- (7) 電動自転車・二輪車市場の動向と展望
- (8) 電動工具（パワーツール）市場の動向と展望

3. 車載用二次電池応用市場の動向と展望

- (1) 環境対応車市場の動向と展望
 - (2) LiB メーカーと自動車メーカーの提携関係
- ### 4. 車載用二次電池メーカーの動向と展望
- （オートモーティブエナジーサプライ/日立ビークルエナジー / プライムアース EV エナジー/リチウムエナジージャパン）

5. 産業・業務用二次電池応用市場の動向と展望

- (1) 家庭・学習用ロボット国内市場の動向と展望
- (2) 産業車両（フォークリフト）市場の動向と展望
- (3) 無停電電源装置・瞬低補償装置市場の動向と展望
- (4) 蓄電システム（定置型蓄電池）市場の動向と展望

第IV章 二次電池関連部材市場の動向と展望

1. リチウムイオン電池構成部材の動向と実態

- (1) リチウムイオン電池部材市場の最新動向
- (2) リチウムイオン電池部材の概要と動向
- (3) リチウムイオン電池構成部材の供給関係

2. リチウムイオン電池正極材の動向と展望

- (1) リチウムイオン電池正極材の動向と実態
（リチウムイオン電池正極材世界市場推移・予測/シェア）

3. リチウムイオン電池負極材の動向と展望

- (1) リチウムイオン電池負極材の動向と実態
（リチウムイオン電池負極材世界市場推移・予測/シェア）

4. リチウムイオン電池電解液の動向と展望

- (1) リチウムイオン電池電解液の動向と実態
（リチウムイオン電池電解液世界市場推移・予測/シェア）

5. リチウムイオン電池セパレータの動向と展望

- (1) リチウムイオン電池セパレータの動向と実態
（リチウムイオン電池セパレータ世界市場推移・予測/シェア）

第V章 二次電池部材メーカーの動向と展望

1. リチウムイオン電池正極材メーカーの動向と展望

（JX 金属㈱/住友大阪セメント㈱/住友金属鉱山㈱ / ㈱田中化学研究所/戸田工業㈱/日亜化学工業 ㈱/三井金属鉱業㈱）

2. リチウムイオン電池負極材メーカーの動向と展望

（JFE ケミカル㈱/昭和電工マテリアルズ㈱/三菱ケミカル㈱）

3. リチウムイオン電池電解液メーカーの動向と展望

（宇部興産㈱/三菱ケミカル ㈱/森田化学工業㈱/その他）

4. リチウムイオン電池セパレータメーカーの動向と展望

（旭化成㈱/宇部興産㈱/住友化学㈱/帝人㈱/東レ㈱）

5. 有力二次電池部材メーカーの動向と展望

第VI章 二次電池メーカーの動向と展望

1. 二次電池国内主要メーカーの動向と展望（2019～23年度）

（㈱エンビジョン AESC エナジーデバイス）/ FDK㈱/エリーパワー㈱ / 川崎重工工業㈱ / ㈱GS ユアサ/昭和電工マテリアルズ㈱/セイコーインスツル㈱/㈱東 芝/日本ガイシ㈱/パナソニック㈱/古河電池㈱ / マクセル㈱ / ㈱村田製作所）

2. 二次電池海外主要メーカーの動向と展望

（ATL / SK イノベーション / LG 化学 / COSLIGHT GROUP / サムスン SDI / BAK Batter / BYD / Lishen Battery）

2021年版 太陽光発電市場・技術の実態と将来展望

—脱炭素社会と新エネルギー— ～基幹電源・太陽光発電市場実態/予測・関連部材—

◆ 発行:2021年1月22日 ◇ 体裁:B5判・210頁 ◇ 定価:70,000円(税抜) ㊦共 ◆
◇ B5判+CDタイプ(PDF) 定価:90,000円 ◇ CDタイプ(PDF) 定価:70,000円 ◇

—内容案内—

政府は2050年までに温暖化ガスの排出量を実質ゼロとする目標を打ち出しました。新たな方針に沿って、今回の総合経済対策にもグリーン社会の実現に向けた政策が盛り込まれました。次世代蓄電池や水素、カーボンリサイクルなど革新的な技術開発に継続的な支援を行うために2兆円の基金が創設されます。住宅用太陽光パネルで発電した電力を決まった高価格で買い取る制度が2019年で終了しました。送り先がなくなり、宙に浮く太陽光発電設備を持つ家庭を取り込もうという動きが電力会社などで広がっています。自由化で顧客獲得競争を繰り広げる各社にとって、大きな商機が浮上しようとしています。住宅の屋根などに置く太陽光パネルによる太陽光発電を置く太陽光パネルによる発電を長期間、固定した価格で買い取る制度は09年11月から開始されました。住宅で使い切れずに余った電気を電力会社に売る仕組みです。10年目となる19年に初めて期限を迎えます。対象は、19年の11月と12月だけで53万件に達し、23年度までに165万件に達する見通しです。19年11月に期限が切れる家庭の場合、1kW時当たり48円という、高価格で売買取きなくなり、太陽光パネルがある家庭は電力を自宅でするか、新たな電力会社が示す価格で売ることになります。ここで各社は商機を見出そうとしています。

★ 目次・サンプル(PDF)は、HP <http://www.j-economic.co.jp> でご確認ください。★
— お問い合わせ、お申し込みは、Tel (03-3808-0611) / Fax (03-3808-0617) までお願いします —

2021 太陽光発電市場・技術の実態と将来展望(第一版)

購入申込書

申込日:2021年 月 日

※ 購入される商品の口にチェックをして下さい。以下の定価は税抜き価格で、別途消費税が加算されます。
 B5判+CDタイプ(PDFファイル) 定価:90,000円 プレミアムCD(PDF+Excelファイル) 定価:90,000円
 B5判210頁 定価:70,000円 CDタイプ 定価:70,000円 B5判+プレミアムCD 定価:110,000円
 ※ 上記以外に、A4判、メールタイプ(定価:各70,000円)などニーズに対応した商品を提供しています。

御社名		T E L	
		F A X	
所在地	〒		
部署名		御氏名	
御役職			
通信欄		メール	

※ ご請求書は、資料発送時に同封致します。ご記入頂きました個人情報は、新刊案内・既刊案内のご案内をさせて頂く場合がございます。お客様の個人情報を第三者に提供する事はございません。ご注文は弊社HPからも注文できます。
〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-11-5 日本橋吉泉ビル3F ㈱日本エコノミックセンター 東京本社

※ 市場動向等により一部内容が変更される場合があります

第I章 2050年脱炭素社会への動向と展望

1. 温室効果ガス排出量をゼロに
2. 温室効果ガス排出量について
3. 自家消費型エネルギーシステム
4. 太陽光発電市場規模予測(～2050年)

第II章 住宅用太陽光発電市場の動向と展望

1. 住宅用太陽光発電市場の動向と実態
 - (1)住宅用太陽光発電市場の概況と動向
(住宅用太陽光発電システム(件数・出荷量・金額)／システム平均価格／新設住宅着工戸数 各市場推移・予測(～30年度))
 2. スマートハウス市場の動向と展望
 - (1)スマートハウスの概要と動向
 - (2)スマートハウスの参入企業と動向(世界/国内市場・～40年度)
 - (3)エコキュート市場の動向と展望
 - (4)エコキュート関連メーカーの動向(国内市場・～30年度)
 - (5)IHクッキングヒーター市場の動向と展望(国内市場・～30年度)
 - (6)IHクッキングヒーター関連メーカーの動向
3. 太陽光発電向けパワーコンディショナーの動向と展望
 - (1)パワーコンディショナーの概要と動向(国内市場・～30年度)
(住宅用太陽光発電パワーコンディショナー市場予測/シェア)
 - (2)パワーコンディショナー関連メーカーの動向
(オムロン(株)／(株)三社電機製作所／山洋電気(株)／その他)

第III章 事業用太陽光発電市場の動向と展望

1. エネルギー小売自由化の動向と展望
(電力事業の概要について／電気事業における制度改革の動き／電力供給制度の仕組み／電気事業制度の見直しについて／電力自由化(電力システム改革)の流れ／エネルギー基本計画の動向について／分散型システムの種類と特徴)
2. 大規模太陽光発電市場の動向と展望(国内市場・～30年度)
 - (1)メガソーラーの概要と動向
 - (2)メガソーラー設置・稼働動向(表)
 - (3)メガソーラー関連機器メーカーの動向
(メガソーラー／太陽電池／架台／パワコン 各市場/シェア)

第IV章 世界・国内太陽光発電市場の動向と展望

1. 太陽光発電世界市場の動向と実態
 - (1)太陽光発電世界市場の概況と動向
(太陽光発電世界市場予測(～30年度)／シェア／地域別シェア)
2. 太陽光発電国内市場の動向と実態
 - (1)太陽光発電国内市場の概況と動向
 - (2)太陽光発電国内市場の業界構造
(太陽光発電国内出荷量推移予測(～2030年度)／用途別出荷量推移予測／出荷量シェア(～2017年度／国内向け生産推移予測／輸入量推移予測／輸出品推移予測／総出荷量推移予測／総出荷量推移予測(個別)／種類別出荷量推移予測／構成比率)
 - (3)太陽電池の分類と特性について
 - (4)太陽電池セル(モジュール) 国内出荷量推移・予測/シェア
(太陽電池メーカーセル出荷量推移・予測(～2023年度)／シェア

(～2017年度)／構成比率(全体)／単結晶セル／多結晶セル／薄膜型セル／ハイブリッドセル 出荷量推移・予測/シェア)

- (5)メーカー別太陽電池セル出荷量推移・予測(～2023年度)
(単結晶／多結晶／薄膜型／ハイブリッド 各予測(～23年度))
3. 海外の太陽光発電システムの動向
・地域別太陽光発電導入量推移・予測(2008～2040年度)
4. 太陽光発電ロードマップ(PV2030)
5. 国内の太陽光発電システムの動向と展望
 - (1)システム導入促進への取り組み
 - (2)太陽光発電システムの導入と事例
(太陽光発電システム別国内市場推移予測(～30年度)／システム別国内市場推移予測(金額／個別)／構成比率(金額))

第V章 太陽光発電関連技術・部材の動向と展望

1. 太陽光発電システムの背景と取り組み
 - (1)FITに依存しないエネルギーモデル
 - (2)O&M(運用・保守)サービスの重要性
 - (3)O&Mサービス参入企業と比較
 - (4)遠隔監視サービスの概要と動向
 - (5)遠隔監視サービス参入企業と比較
 - (6)エネルギー政策上での位置付け
2. 太陽光発電システムの特徴及び効果
3. 太陽光発電関連補助事業と予算
4. 太陽電池用シリコンの動向と展望
 - (1)多結晶用シリコンの動向と展望
・太陽電池主要部材世界市場推移・予測(～2030年度)
 5. 太陽電池用シリコン・ウエハ関連メーカーの動向と展望
(株)大阪チタニウムテクノロジーズ／(株)トクヤマ／その他)
(太陽電池用多結晶シリコン世界生産量予測／生産量シェア／世界国内生産量推移・予測/シリコンウエハ輸出輸入量推移予測)
 6. ポリエチレンテレフタレート(PET)フィルムの動向と展望
 - (1)ポリエステル(PET)フィルムの市場概況と動向
(太陽電池用PETフィルム世界生産量推移予測/シェア)
 7. ポリエチレンテレフタレート(PET)フィルム関連メーカーの動向と展望
(太陽電池用バックシート世界市場推移・予測/シェア)
 8. 太陽電池用バックシート関連メーカーの動向と展望
 9. 太陽電池用封止材メーカーの動向と展望
 10. 太陽電池用ガラスメーカーの動向と展望
 11. 太陽電池用コネクタの動向と展望

※ 以上 各世界市場推移・予測(～2030年度)／シェア

第VI章 太陽光発電関連メーカーの動向と展望

1. 国内セル・モジュールメーカーの動向と展望(個票)
※ 会社概要・事業/生産/製品動向等・2019～2023年度
(株)カネカ／京セラ(株)／シャープ(株)／ソーラーフロンティア(株)／長州産業(株)／(株)東芝／パナソニック(株)
2. 太陽電池製造・検査装置メーカーの動向
(株)アルバック／インスペック(株)／(株)エヌ・ピー・シー／オリジン電気(株)／芝浦メカトロニクス(株)／タカノ(株)／日清紡メカトロニクス(株)／日立造船(株)／(株)フェローテックHD／横河電機(株)

2021年版 スマートデバイス市場の実態と将来展望

— With コロナとデバイス ～ 蓄電池・電子部品・注目半導体 各市場編 —

◆ 発行:2020年12月11日 ◇ 体裁: B5判・230頁 ◇ 定価:70,000円(税抜) 千共◆
◇ B5判+CD版(PDF) 定価:90,000円 ◇ CD版(PDF) 定価:70,000円(以上、税抜き) ◇

— 内容案内 —

新型コロナ感染による影響があるものの電子部品メーカーの設備投資が本格的に再開します。業績は悪化していたものの、経済活動の本格的に伴い回復基調に転じています。足元での受注活発化に加えて、先行きの需要にも明るい材料が見られます。バランスが崩れている需給状況から脱して、業績を伸ばしていく上で生産体制を増強する動きが表面化しています。本レポートのスマートデバイスは蓄電池では「リチウムイオン電池」、半導体のうち「パワー半導体」「LED パッケージ」を扱います。そのうち電子部品は、デジタル機器や電化製品に搭載されている部品の総称です。本レポートでは、コンデンサやインダクタのような電気信号の入力を受けて電気を蓄積したり整えたりする「受動部品」を取り扱います。受動部品以外にスイッチ、コネクタなどの接続部品などあります。世界で年間販売台数が約15億台に達し、毎年のように新しい機能が追加されるスマートフォン（スマホ）が再び電子部品の市場をけん引していくものと見られます。ただし、成長のペースが鈍化して技術的にも成熟してきました。電子部品メーカーは自動車や医療、ロボットなどスマホ以外の市場の開拓に取り組んでいます。M&A（合併・買収）や事業の入れ替えも活発になっていきます。

★ 関連レポートとして、「2021 コンデンサ市場の実態と将来展望（2021年10月刊）」などがあります ★

☆ サンプル・目次（PDF）は、HP <http://www.j-economic.co.jp> でご確認ください。 ☆

— お問い合わせ、お申し込みは、Tel（03-3808-0611） / Fax（03-3808-0617）までお願いします —

2021 スマートデバイス市場の実態と将来展望（第一版）

購入申込書

申込日: 年 月 日

※購入される商品の口にチェックして下さい。以下の定価は、税抜き価格で別途消費税が加算されます。

B5判+CDタイプ（PDFファイル）定価:90,000円 プレミアム CD(PDF+Excelファイル) 定価:90,000円

B5判230頁 定価:70,000円 CDタイプ 定価:70,000円 B5判 +プレミアム CD 定価:110,000円

※ 上記以外に、A4判、メールタイプ、章単位レポートなどニーズに対応した商品を提供しております

御社名		TEL	()
		FAX	()
所在地	〒		
部署名		御名前	
御役職			
通信欄		メール	

※ ご請求書等は、資料発送時に同封致します。ご記入頂きました個人情報、新刊案内（メールを含む）のご案内をさせて頂く場合がございます。お客様の個人情報を第三者に提供する事はありません。ホームページからも注文できます。

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-11-5 日本橋吉泉ビル3F 株式会社日本エコノミックセンター 東京本社

※ 市場動向等により一部内容が変更される場合があります。

第I章 スマートデバイス市場の動向と展望

第I章 スマートデバイス市場の動向と展望

1. スマートデバイスの概要と動向

- (1) スマートデバイスの種類と動向
- (2) 蓄電池市場概況と動向
- (3) 蓄電池業界の業界図 (リチウムイオン電池)
- (4) 蓄電池世界市場推移・予測
- (5) 電子部品業界の業界図 (受動部品別)
- (6) 電子部品世界市場推移・予測
- (7) 半導体市場概況と動向
- (8) 半導体業界の業界図 (全体・LED)
- (9) 半導体世界市場推移・予測
- (10) 半導体世界市場シェア

2. スマートデバイス国内統計資料

- (1) スマートデバイス生産数量・金額推移
- (2) スマートデバイス輸出入数量・金額推移

第II章 リチウムイオン電池市場の動向と展望

1. 次世代リチウムイオン電池の動向と実態

2. リチウムイオン電池市場の動向と実態

- (1) リチウムイオン電池の市場概況と動向
- (2) リチウムイオン電池のタイプと区分
・リチウムイオン電池世界市場推移・予測
(民生用/産業・業務用世界市場推移予測/シェア)
3. 民生用リチウムイオン電池調査集計 (2018~22年度)
 - (1) メーカー別リチウムイオン電池出荷数量・金額一覧
 - (2) メーカー別小型民生用リチウムイオン電池出荷数量
 - (3) メーカー別小型民生用リチウムイオン電池出荷金額
 - (4) 民生用タイプ別リチウムイオン電池市場推移・予測
 - (5) 民生用タイプ別リチウムイオン電池市場/推移
(①角型/②円筒型/③ポリマー型/④マイクロ型)
 - (7) 民生用タイプ別リチウムイオン電池メーカー別
(①角型/②円筒型/③ポリマー型/④マイクロ型)

第III章 コンデンサ市場の動向と展望

1. コンデンサ世界市場の現状と展望

- (1) コンデンサ世界市場規模と動向
- (2) コンデンサ市場業界図 (世界・国内)
 - ①コンデンサ世界市場推移・予測
 - ②コンデンサ別世界市場推移・予測 (数量・金額)
(セラミック/積層セラミックコンデンサ/アルミ電解/タンタル電解/フィルムコンデンサ 各世界市場推移予測/シェア)

2. コンデンサ国内市場の現状と展望

- (1) コンデンサ国内市場規模と動向
- (2) コンデンサ市場の最新動向
- (3) コンデンサメーカー別市場動向
- (4) コンデンサ種類別市場概況と動向

3. 弊社実態調査集計資料

- (1) 主要メーカー別販売数量・金額一覧 (表)

- ①主要メーカー別販売数量推移予測
- ②主要メーカー別販売金額推移予測
- (2) 主要メーカーコンデンサ別販売数量・金額一覧
- (3) コンデンサタイプ別弊社集計・分析結果
- ①セラミックコンデンサ販売数量・金額推移予測
- ②積層セラミックコンデンサ販売数量・金額推移予測
- ③アルミ電解コンデンサ販売数量・金額推移予測
- ④タンタル電解コンデンサ販売数量・金額推移予測
- ⑤導電性高分子電解コンデンサ販売数量・金額推移予測
- ⑥フィルムコンデンサ販売数量・金額推移予測
- ⑦金属化有機フィルムコンデンサ販売数量・金額推移予測
- (4) コンデンサタイプ別販売数量・金額推移予測

第IV章 EMC対策デバイス市場の動向と展望

1. EMC・ノイズ対策国内市場の動向と展望

- (1) EMC・ノイズ対策国内市場の動向
- (2) 各種ノイズの発生源と種類
- (3) EMC・ノイズ対策製品の分類と動向
- (4) メーカー別 EMC・ノイズ対策製品一覧 (表)

2. EMC・ノイズ対策世界市場の動向と展望

- (1) EMC・ノイズ対策世界市場概況
- (2) EMC・ノイズ対策世界市場推移予測/構成比率
(EMC・ノイズ対策世界市場推移予測 (数量・金額))

3. 弊社実態調査集計資料 (表)

- (1) EMC・ノイズ対策関連メーカー別市場動向
- ①EMC・ノイズ対策市場規模推移・予測 (表)
- (2) EMC・ノイズ対策関連製品別市場動向

第V章 注目半導体市場の動向と展望

1. パワー半導体市場の動向と実態

- (1) パワー半導体の市場概況と動向
- ①パワー半導体別世界市場推移・予測
- ②IGBT世界市場推移・予測/シェア
- ③MOSFET世界市場推移・予測/シェア
- ④半導体地域別市場推移・予測

2. LED市場の動向と実態

- (1) LEDの定義と原理
- (2) LEDの業態区分と種類
- (3) LEDパッケージ市場動向と展望
- ①LEDパッケージ世界市場推移・予測/シェア
- ②LEDパッケージ地域別市場推移・予測

第VI章 スマートデバイス関連メーカーの動向

1. スマートデバイス関連メーカーの動向

(個票：会社概要・関連製品別出荷金額他・2018~22年度)

(アルプスアルパイン(株) / FDK(株) / エルナー(株) / 岡谷電機産業(株) / オムロン(株) / 京セラ(株) / KOA(株) / (株)指月電機製作所 / (株)芝浦電子 / 双信電機(株) / 太陽誘電(株) / TDK(株) / (株)トーキン / 日亜化学工業(株) / ニチコン(株) / 日本ケミコン(株) / パナソニック(株)AIS社 / 北陸電気工業(株) / (株)MARUWA / (株)村田製作所 / ルビコン(株) / ローム(株) 計22社 五十音順

2021年版 燃料電池市場・技術の実態と将来展望

— With コロナと新エネルギー — ～燃料電池市場実態予測・部材・応用—

◆ 発行:2020年11月13日 ◇ 体裁:B5/A4判・210頁◇ 定価:70,000円(税抜き) ◆
◇ B5判+CDタイプ(PDF) 定価:90,000円 ◇ CDタイプ 定価:70,000円(以上、税抜き) ◇

内容案内

新型コロナ感染が拡大している一方で、水素社会の実現に向けた取り組みも活発化しています。環境負荷低減の手法として水素の活用を視野に入れるとともに、地域振興の起爆剤として水素・燃料電池の活用、関連技術の開発を促す動きを強めています。例えば東京都は、2021年の東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、水素エネルギーを活用した環境先進都市のモデル地区を構築し、国内外にPRすることを計画しています。都は、2017年4月に東京オリンピック・パラリンピック開催後の選手村地区（東京都中央区晴海）での街づくりの将来像やエネルギー関連施策の方向性をまとめた「選手村地区エネルギー整備計画」を策定しています。水素ステーション（ST）や30～40kW級の純水素型燃料電池5基を設置すること、水素STで燃料電池自動車（FCV）や燃料電池（FC）バスに水素供給すること、水素導管を整備して水素STから導管で燃料電池に水素を供給することなどを盛り込んでいます。トヨタ自動車とJR東日本は水素を活用した鉄道と自動車の連携を軸に提携しました。また業務・産業用燃料電池では、メーカー数社が固体酸化物形燃料電池（SOFC）の市場投入を開始。市場投入したメーカー以外でも開発を進めています。

★目次・サンプル（PDF）などはHP <http://www.j-economic.co.jp> でご確認ください。★

— お問い合わせ、ご注文などは、Tel（03-3808-0611） / Fax（03-3808-0617）までお願いします —

2021 燃料電池市場・技術の実態と将来展望（第一版）

購入申込書

申込日：20 年 月 日

※ 購入される商品の口にチェックして下さい。以下の定価は、税抜き価格で別途消費税が加算されます。

B5判+CDタイプ(PDFファイル) 定価:90,000円 プレミアム CD(PDF+Excelファイル) 定価:90,000円

B5判 210頁 定価:70,000円 CDタイプ 定価:70,000円 B5判+プレミアム CD 定価:110,000円

※ 上記以外にA4タイプ、章単位CDなどニーズに対応した商品を提供しております。

御社名	TEL	
	FAX	
御住所	〒	
御所属	御氏名	
御役職		
通信欄	メール	

※ 請求関連書類は資料発送時に同封致します。ご記入頂きました個人情報、新刊案内（メール含む）のご案内をさせて頂く場合がございます。お客様の個人情報を第三者に提供する事はございません。ご注文はHPからも注文できます。

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-11-5 日本橋吉泉ビル3F 株式会社日本エコノミックセンター 東京本社

序章 燃料電池と水素エネルギー社会

(水素エネルギー技術の全体像/水素社会での燃料電池の将来)

第I章 燃料電池国内外市場の動向と展望

1. 燃料電池世界市場の動向と展望

(1)燃料電池用途別世界市場の概況と動向

- ・家庭用/自動車用/ポータブル/産業用 各市場台数・金額
- ・燃料電池地域別世界市場推移・予測

(2)燃料電池タイプ別世界市場の概況と動向

- ・家庭用/自動車用/ポータブル/産業用 各市場台数・金額
- ・燃料電池容量別世界市場推移・予測

2. 燃料電池国内市場の動向と実態

(1)燃料電池国内市場の概況と動向

(2)燃料電池国内市場の最新動向

- ・国内市場推移予測/メーカーシェア・推移(台数・金額)

(3)燃料電池用途別国内市場の概況と動向

- ・家庭用/自動車用/ポータブル/産業用 各市場台数・金額
- ・燃料電池容量別国内市場推移・予測

(4)燃料電池タイプ別国内市場の概況と動向

(固体高分子/固体酸化物/メタノール/リン酸/溶融炭酸塩形)

3. 海外の燃料電池・水素関連動向

4. 海外燃料電池関連メーカーの動向

5. 燃料電池を取り巻く背景と助成制度

(1)再生可能エネルギーの概要と動向

(2)燃料電池に対する助成制度(平成30年度)

第II章 家庭用燃料電池市場の動向と展望

1. 家庭用燃料電池市場の動向と実態

(1)家庭用燃料電池市場の最新動向

(2)家庭用燃料電池市場の概要と動向

- ・家庭用燃料電池国内市場推移・予測/シェア
- ・家庭用燃料電池販売会社別市場推移・予測
- ・家庭用燃料電池別別市場推移・予測(販売・累計)

2. 家庭用燃料電池関連メーカーの動向と展望

(アイシン精機株/アストモスエネルギー株/大阪ガス株/京セラ株/西部ガス株/静岡ガス株/東京ガス株/東邦ガス株/パナソニック株)

第III章 産業・業務用燃料電池市場の動向と展望

1. 産業・業務用燃料電池の動向と実態

(1)産業・業務用燃料電池市場の最新動向

(株)クラレ/東洋紡株/東レ株)

(2)固体酸化物形燃料電池(SOFC)の動向と展望

(1)固体酸化物形燃料電池市場の最新動向

(2)固体酸化物形燃料電池関連メーカーの動向と展望

(関西電力株/京セラ株/東京ガス株/日本ガイシ株/株)日本触媒/日立金属株/三菱重工業株)

(3)リン酸形燃料電池(PAFC)の動向と展望

(4)溶融炭酸塩形燃料電池(MCFC)の動向と展望

2. ポータブル燃料電池の動向と実態

(1)ポータブル燃料電池市場の最新動向

(2)ポータブル燃料電池の今後と展望

(3)リチウムイオン電池(LiB)との比較

7. ポータブル燃料電池関連の技術開発動向

8. ポータブル燃料電池関連メーカーの動向と展望

(アクアフェアリー株/パナソニック株/株)日立製作所)

9. ポータブル燃料電池部材関連メーカーの動向と展望

第IV章 燃料電池自動車市場の動向と展望

1. 燃料電池自動車 (FCV) の動向と実態

(1)燃料電池自動車市場の最新動向

(2)燃料電池自動車の課題と展望

(3)環境対応車の現状と動向

(4)燃料電池車の提携関係

①燃料電池自動車地域別市場推移・予測 (2010~30年度)

②車種別燃料電池自動車世界市場推移・予測 (2010~30年度)

③燃料電池自動車国内市場推移・予測 (2010~30年度)

2. 燃料電池自動車関連国内メーカーの動向と展望

(トヨタ自動車株/日産自動車株/本田技研工業株)

3. 燃料電池自動車関連海外メーカーの動向と展望

4. 水素ステーションの動向と展望

(1)水素ステーションの最新動向

(2)水素燃料の概要と市場動向

(3)水素ステーションの課題と検討

①水素ステーション世界市場推移予測/地域別構成比率

②水素ステーション国内市場推移・予測 (2012~30年度)

5. 水素ステーション関連企業の動向と展望

(出光興産株/岩谷産業株/エア・ウォーター株/JXTG エネルギー株/大陽日酸株/東京ガス株/東邦ガス株/他2社)

第V章 燃料電池関連部材・技術の動向と展望

1. 燃料電池部材市場の動向と実態

(1)燃料電池部材市場の概況と動向

2. 固体高分子膜と電極材の動向と展望

(1)固体高分子膜・電極材の技術動向

(2)固体高分子膜世界市場推移・予測/シェア

3. 高分子膜・電極材関連メーカーの動向と展望

(AGC株/住友化学株/田中貴金属工業株/デュポン株/戸田工業株/株)ノリタケカンパニーリミテド/ホソカワミクロン株/他)

4. 燃料電池セパレータの動向と技術

5. 燃料電池用セパレータ関連メーカーの動向と展望

(NOK株/山陽特殊製鋼株/昭和電工株/信越ポリマー株/大同特殊鋼株/東海カーボン株/日清紡HD株/日本製鉄株)

6. 燃料電池計測・評価装置関連メーカーの動向と展望

(株)エヌエフHD/菊水電子工業株/株)チノー/株)東陽テクニカ/日置電機株/日立ハイテク株/横河電機株)

7. 定置用燃料電池関連の技術開発動向

(九州大学/北海道大学/横浜国立大学/理化学研究所他)

8. 燃料電池関連メーカー・企業の戦略(表)

※予告なく内容を一部変更する場合があります。ご了承下さい。

2021年版 コンデンサ市場・部材の実態と将来展望

－ With コロナと電子デバイス ～ コンデンサ市場実態/予測・技術・応用製品 －

◆ 発行:2020年10月16日 ◇体裁:B5/A4・220頁 ◇定価:70,000円(税抜き)〒共 ◆
◇B5判+CDタイプ(PDF) 定価:90,000円 ◇CDタイプ(PDF) 定価:70,000円(税抜)◇

調査背景

新型コロナの感染拡大が広がっていますが、コンデンサの需要は堅調です。自動車の安全系を中心とした電装化率が高まり、しかもxEV(電動自動車)といった環境対応車が普及し、コンデンサの搭載件数が増加。スマホはハイエンド機種への搭載点数が増えているほか、新興国への普及で生産台数増加が需要を伸ばしています。さらに、旺盛な設備投資、IoT、AIを作った新しいモノづくりの構築などで、産業機器が大きな伸びを示して、コンデンサの需要を押し上げています。JEITAの統計によれば、コンデンサのグローバル出荷額は、年率1桁ながらも着実に伸びており、2015年度には9,066億円に達しました。16年度は中国をはじめ在庫調整などによって設備投資が低調で産業機器向けの需要が減少、8,889億円にとどまりました。17年度はインダストリー4.0をはじめとする新しいモノづくりの構築が世界的に広がり、工作機械、産業ロボットなどの需要が伸び、関連したコンデンサの生産が増加。スマホの新機種生産の立ち上げ、中国メーカーの生産拡大で、チップコンデンサの生産規模が拡大。自動車向けも生産台数の伸びに加え、ADASなどの安全系を中心に機能強化、HVなどの環境対応車の生産台数増加などで、車載用コンデンサの需要が伸びており、グローバル出荷額は1兆円を突破。中長期的には高性能コンデンサの需要が増加、家電分野では省エネ化でインバータの搭載化率が上昇し、IoTと関連した通信、センサーなどに係る新しい需要も創出されていきます。

★ 目次・サンプル(PDF)などは、<http://www.j-economic.co.jp>でご確認下さい ★

－ お問い合わせ・お申し込みは、Tel(03-3808-0611) / Fax(03-3808-0617)までお願いします －

2021 コンデンサ市場・部材の実態と将来展望 (第一版)

購入申込書

申込日:20 年 月 日

※ 購入される商品の口にチェックして下さい。以下の定価は、税抜き価格で別途消費税が加算されます。

B5判+CDタイプ(PDFファイル) 定価:90,000円 プレミアムCD(PDF+Excelファイル) 定価:90,000円

B5判220頁 定価:70,000円 CDタイプ 定価:70,000円 B5判+プレミアムCD 定価:105,000円

※ 上記以外に、A4タイプ(定価:70,000円)などニーズに対応した商品を提供しております。

御社名		TEL	()
		FAX	()
所在地	〒		
部署名	御氏名		
御役職			
通信欄	メール		

※ ご請求書は、レポート発送時に同封致します。ご記入頂きました個人情報は、弊社からの情報提供・新刊案内以外には使用致しません。お客様の個人情報を第三者に提供する事はありません。ご注文はHPからも注文できます。

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-11-5 日本橋吉泉ビル3F ㈱日本エコノミックセンター 東京本社

序章 コンデンサ注目市場と将来性

第I章 コンデンサ国内外市場の動向と展望

1. コンデンサ世界市場の現状と展望
 - (1) コンデンサ世界市場規模と動向
 - (2) コンデンサ市場業界図 (世界・国内)
- ① コンデンサ世界市場推移・予測 (2007～25 年度)
- ② コンデンサ別世界市場推移予測 (数量・金額) / シェア
2. コンデンサ国内市場の現状と展望
 - (1) コンデンサ国内市場規模と動向
 - (2) コンデンサ市場の最新動向
(コンデンサ市場推移・予測 (数量・金額) 2007～25 年度)
 - (3) コンデンサメーカー別市場動向
(コンデンサ日系メーカーシェア (数量・金額) 2018～19 年度)
 - (4) コンデンサ種類別市場概況と動向
(コンデンサ構成比率 (数量・金額・2018～19 年度))
3. 弊社実態調査集計資料
 - (1) 主要メーカー別販売数量・金額一覧 (表・2018～22 年度)
- ① 主要メーカー別販売数量推移予測 (2007～22 年度)
- ② 主要メーカー別販売金額推移予測 (2007～22 年度)
- (2) 主要メーカーコンデンサ別販売数量・金額一覧 (～21 年度)
- (3) コンデンサタイプ別集計・分析結果 (～22 年度 / シェア)
- (4) コンデンサタイプ別販売数量・金額推移予測 (～22 年度)
4. コンデンサ関連国内統計資料
 - (1) コンデンサ国内生産量規模 (表・2001～2019 年)
 - (2) コンデンサ別国内生産量推移表 (2001～2019 年)
 - (3) コンデンサ輸出・輸入量規模 (表・2001～19 年)
 - (4) コンデンサ別輸出・輸入量推移表 (2001～19 年)

第II章 コンデンサ別の市場動向と展望

1. 積層セラミックコンデンサの動向と展望
 - (1) 積層セラミックコンデンサの概要と動向
 - (2) 積層セラミックコンデンサの大容量化と用途拡大
 - (3) サイズ別世界市場推移予測 (2008～22 年度) / シェア推移
 - (4) 用途別世界市場推移予測 / 構成比率推移 (2008～22 年度)
 - (5) さらなる小型化や高密度実装化に貢献するチップ型
 - (6) 積層セラミックコンデンサの動的モデルと進化
2. 電解コンデンサの動向と展望
 - (1) 電解コンデンサの概要と動向
 - (2) 電解コンデンサタイプ別世界市場予測 / シェア (～25 年度)
 - (3) 電解コンデンサ用途別市場予測 / 構成比率推移 (～25 年度)
 - (4) 導電性高分子コンデンサタイプ市場推移予測 / シェア
 - (5) 車載用アルミ電解コンデンサ耐振動構造品
 - (6) 導電性高分子アルミ電解コンデンサの低背化技術
3. 電気二重層コンデンサの動向と展望
 - (1) 電気二重層コンデンサの概要と動向
 - (2) 電気二重層コンデンサの技術動向
 - (3) 電気二重層タイプ別市場推移予測 / 構成比率 (～25 年度)
 - (4) 電気二重層用途別市場推移予測 / 構成比率推移 (～25 年度)
 - (5) 広温度範囲対応電気二重層キャパシタの開発

4. タンタルコンデンサの動向と展望

- (1) タンタルコンデンサの概要と動向
 - (2) タンタルタイプ別市場推移予測 / 構成比率推移 (～20 年度)
 - (3) タンタル用途別市場推移予測 / 構成比率推移 (～20 年度)
- ### 5. フィルムコンデンサの動向と展望
- (1) フィルムコンデンサの概要と動向
 - (2) フィルムタイプ別世界市場予測 / 構成比率推移 (～25 年度)
 - (3) フィルム用途別世界市場予測 / 構成比率推移 (～25 年度)

第III章 コンデンサ関連市場の動向と展望

1. コンデンサ関連市場の最新動向
 - (1) コンデンサ関連市場概況と動向
 - (2) コンデンサ関連世界市場予測 / 構成比率推移 (～25 年度)
 - (3) 関連市場別コンデンサ市場予測 / 構成比率推移 (～25 年度)
2. コンデンサ関連市場の動向と展望
調査内容：製品市場動向、製品シェア、製品・生産動向 等
(スマートフォン / 携帯電話 / タブレット端末 / ノートブック / パソコン / デジタルカメラ / 自動車 / カーナビゲーション / パワーコンディショナー / LED 照明)

第IV章 コンデンサ関連部材市場の動向と展望

1. コンデンサ別関連部材の概要と動向
2. セラミックコンデンサ関連部材の動向と展望
 - (1) 酸化チタン (TiO_2) の市場概況と動向
 - (2) 酸化チタンメーカー別生産能力 (表)
・コンデンサ用酸化チタン国内出荷量推移予測 (～25 年度)
 - (3) 炭酸バリウム ($BaCO_3$) の市場概況と動向
・コンデンサ用炭酸バリウム国内出荷量推移予測 (～25 年度)
3. アルミ電解コンデンサ関連部材の動向と展望
 - (1) アルミ箔 (Al) の市場概況と動向
・コンデンサ用アルミ箔国内出荷量推移予測 (～25 年度)
4. タンタルコンデンサ関連部材の動向と展望
 - (1) タンタル (Ta) の市場概況と動向
(コンデンサ用タンタル国内出荷量推移 / 国内需給量推移表)
5. 電気二重層コンデンサ関連部材の動向と展望
 - (1) 電気二重層コンデンサ部材の市場概況 (2007～25 年度)
(電極材 / 電解液 / セパレータ 各世界市場予測 / シェア)

第V章 コンデンサメーカーの動向と展望

※ 調査個票：会社概要、関連動向、数量・金額 ～2022 年度

1. 国内コンデンサメーカーの動向と展望
(エーアイシーテック㈱ / エルナー㈱ / 岡谷電機産業㈱ / 京セラ㈱ / サン電子工業㈱ / ㈱指月電機製作所 / 神栄キャパシタ㈱ / 双信電機㈱ / ㈱タイツウ / 太陽誘電㈱ / TDK㈱ / ㈱トーキン / ニチコン㈱ / 日通工エレクトロニクス㈱ / 日本ケミコン㈱ / パナソニック㈱ / 松尾電機㈱ / ㈱MARUWA / ㈱村田製作所 / ルビコン㈱ / ローム㈱) ※ 50 音順・計 23 社
2. 海外コンデンサメーカーの動向と展望 (主要メーカー)
(AVX Corp. / Vishay Inc. / SAMSUNG ELECTRO-MECHANICS.)
3. コンデンサメーカーの戦略 (表)

△▼△▼ 最新調査レポートご案内 ▼▲▼▲

～ 市場予測・将来展望シリーズ - With コロナ/脱炭素社会関連レポート - 好調発売中！

※ 価格は、すべて税抜き価格です

スマートエネルギー・モビリティ関連レポート

2021 太陽光発電市場・技術の実態と将来展望 ～ 基幹電源・太陽発電市場実態/予測・関連部材	B5判・CD-ROM 210頁 ¥70,000～¥110,000 2021年1月刊
2021 燃料電池市場・技術の実態と将来展望 ～ 燃料電池市場実態/予測・関連部材・燃料電池車	B5判・CD-ROM 210頁 ¥70,000～¥110,000 2020年11月刊
2020 スマートグリッド市場の実態と将来展望 ～ SDGsとスマートグリッド・仮想発電所・大型蓄電池	B5判・CD-ROM 210頁 ¥70,000～¥110,000 2020年9月刊
2020 スマートエネルギー市場の実態と将来展望 ～ 太陽光・風力・燃料電池・バイオマス・小水力・地熱	B5判・CD-ROM 230頁 ¥70,000～¥110,000 2020年5月刊
2020 スマート住宅市場・技術の実態と将来展望 ～ スマートハウス/ZEH市場実態/予測・関連機器	B5判・CD-ROM 200頁 ¥70,000～¥110,000 2020年3月刊
2020 次世代自動車市場・技術の実態と将来展望 ～ 自動運転車・環境対応車市場実態/予測・蓄電池	B5判・CD-ROM 230頁 ¥70,000～¥1120,000 2019年12月刊

スマートバッテリー・デバイス関連レポート

2021 二次電池市場・技術の実態と将来展望 ～ 次世代電池・二次電池市場実態/予測・関連部材	B5判・CD-ROM 230頁 ¥70,000～¥110,000 2021年2月刊
2021 スマートデバイス市場の実態と将来展望 ～ リチウムイオン電池・電子デバイス・半導体 編	B5判・CD-ROM 210頁 ¥70,000～¥110,000 2019年5月刊
2021 コンデンサ市場・部材の実態と将来展望 ～ コンデンサ市場実態/予測・関連部材・応用製品	B5判・CD-ROM 220頁 ¥70,000～¥110,000 2020年10月刊
2020 リチウムイオン電池市場の実態と将来展望 ～ リチウムイオン電池市場実態/予測・部材・応用	B5判・CD-ROM 210頁 ¥70,000～¥110,000 2019年8月刊
2020 電子部品・デバイス市場の実態と将来展望 ～ コンデンサ・キャパシタ・EMC対策・抵抗器 編	B5判・CD-ROM 230頁 ¥70,000～¥110,000 2020年7月刊
2020 EMC・ノイズ対策市場の実態と将来展望 ～ EMCノイズ対策市場実態/予測・技術/応用市場	B5判・CD-ROM 210頁 ¥70,000～¥110,000 2020年6月刊
2020 蓄電池・キャパシタ市場の実態と将来展望 ～ 蓄電デバイス(二次電池・キャパシタ)市場/予測	B5判・CD-ROM 210頁 ¥70,000～¥110,000 2020年4月刊

創業 54 年 (Since 1966)

事業構想・企画・市場調査・出版

株式会社 日本エコノミックセンター

〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1丁目11番5号 日本橋吉泉ビル3F

TEL:03(3808)0611(代) / FAX:03(3808)0617 / www.j-economic.co.jp / info@j-economic.co.jp

月刊・市場調査レポート～将来展望シリーズ

編集・発行 ㈱日本エコノミックセンター